

資料 No. 3

香川小原紅早生みかんの栽培管理

植栽

○植栽基準

中庸地		肥沃地	
当初間隔 (本/10a)	最終間隔 (本/10a)	当初間隔 (本/10a)	最終間隔 (本/10a)
2.0m×2.5m (200)	4.0m×5.0m (50)	2.5m×2.5m (160)	5.0m×5.0m (40)

上記については目安とする。

整枝・せん定

果皮が退色しやすいこと、隔年結果性が他のうんしゅうより強いことから、葉数と高品質果実を生産できるしなやかな結果枝を確保することに努める。

収穫時期が他の早生うんしゅうより遅いため、隔年結果を招きやすいので、予備枝のせん定は秋季に行っておき、豊作年の着花を抑制することに努める。

摘果

他のうんしゅう以上に着果位置を揃えることにより、品質と着色の均一化を図る必要がある。紅色色素は紫外線により分解されやすいので、樹冠上部や南向きに着果した果実は直接日光を避けるため、やや内側に結実させることに努める。

- ・着果量の多い樹では、粗摘果を行った後、仕上げ摘果を行う。
- ・着果量の少ない樹では、粗摘果は行わず、仕上げ摘果のみで対応する。

収穫・予措・貯蔵

- ・品質を揃えるため必ず樹冠外周部と内部の果実を区分して収穫する。